



住みながら育て、愛しむ—

二百年住まう家

Only One House

松の
200年住宅

桧

の200年住宅

長い年月を経た日本家屋には、堂々たる風格と味わいがあります。しかし築後長い年数が経つと、修繕が必要になったり、生活スタイルの変化に合わせたリフォームが必要になります。このとき骨組みの構造部分がしっかりしていれば、手を加えながら長く住み続けることが出来ます。私達は最新の材料、技術、工法を用い、100年後、200年後も快適に暮らせる住空間を提供いたします。堅牢な材料で高気密・高断熱の在来軸組工法と、現在のシステムを組み合わせることで建築することにより、ライフスタイルに合わせて簡単に間取りの変更が出来る。その時々に住む人の家族構成や美意識に柔軟に対応出来る。「200年住宅」は、長寿命に必要な耐久性・耐震性・可変性を備えた住まいです。



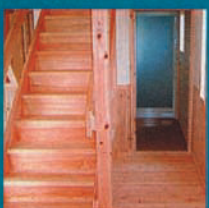
おじいちゃんが建てた家

—— 歴史・伝統・良質な環境 ——



耐久性があり、時を経てもその時々^{そのとき}の家族構成や
住む人の価値観・美意識に対応する家。

「この家は、おまえのおじいさんが建てたんだよ」と言って、
子や孫へ受け継がれ100年、200年…。時代に柔軟に対応する
ことを考えに入れた家造りをします。



地域の景観とマッチし、
年月を重ねるほどに味わいを深める素材。

新築から数十年間は、意匠を凝らした瀟洒な建物^{しょうしや}で地域の景
観とマッチし、以降年を重ねるに従って味わいの出る素材を
使用しています。



住宅の長寿命化とともに、
風格が出てくる素材の体力。

無垢の木材、珪藻土の壁、陶器瓦など自然素材を使用するこ
とにより、素材自体の体力による住宅の長寿命化をはかり、
住まいに風格をもたせます。



国産木材を使うことで山が生き返り、
きれいな水、空気を生み出し 創造される景観。

国産材を使用することは日本の山を守ることにつながります。
成長した木を伐採し手入れすることで山はよみがえり、きれ
いな水や空気、景観が創造されます。

リフォーム・増改築

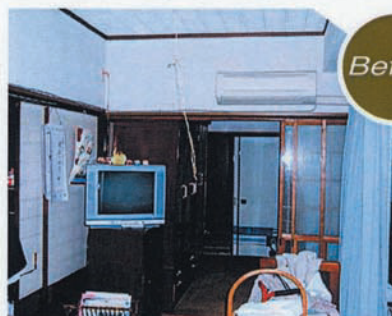
200年住宅は、子供から孫、または次の所有者へと住み継いでいく住宅です。だからこそ各々のライフスタイルに合わせて間取り等を変更したり、アレンジしやすい住まいであることは大変重要です。また、設備や内装を変更しやすい造りになっていれば、10年、20年毎に最新の設備に更新し、より暮らしやすい住まいにすることが出来ます。



Before



After



Before



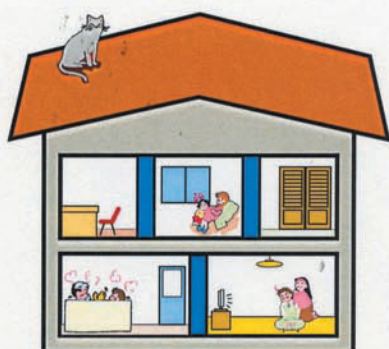
After



Before



After



住まいを200年保たせる ヒ・ミ・ツ

高い強度
の骨組み

20年毎の
メンテナンス

住み替えに柔
軟な可変性

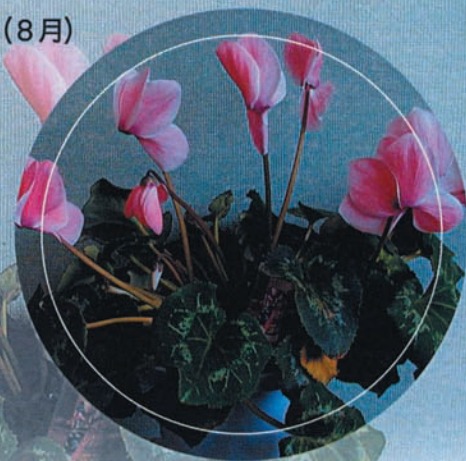
内装更新による
住まいの若返り

間取り変更

優良住宅

エコ住宅

エコ住宅一。次世代省エネ高気密高断熱なので、工夫次第で毎日のランニングコストも安く、1年中温度・湿度が一定に保てます。外気と接する部分をしっかりと高気密高断熱にすることで、夏は涼しく、冬は暖かく、特に冬場の廊下やトイレでのヒートショックが起きにくくなります。住む人に合わせた温度で快適な居住空間を提供します。気候の良い時は窓を開けて外気を取り入れれば、自然の心地よさを満喫できます。



環境にやさしい家は
人にもやさしく、
心地よいやすらぎがあります。

U邸撮影(5月)



構造材

I邸リビングより撮影(9月)



シロアリは材木を栄養としています。群れで巣を作り、住まいの材木内部を食い荒らしていきます。また腐朽菌も柱など木材の腐れの原因になります。被害が起きやすい1階部分には防腐防蟻処理剤と、木材の割れや変形を抑える寸法安定処理剤を加圧式注入処理した無垢材を使用、2階部分には寸法安定処理剤のみを加圧式注入処理した無垢材を使用します。これらの建材を使用することで耐震性に優れ、腐食しにくい住まいが実現します。

安全性 景観

地震大国であり、台風の通り道に位置する日本は度重なる被災経験から、建物の耐震・耐風性能を向上させてきました。桧の家は加圧注入処理木材を使用することにより、半永久的に新築時の耐震性を持つ住宅を実現しています。景観については、歴史ある地域では壁面の位置を合わせるなど、町並みの連続性に配慮しています。空地を確保し、ゆとりある開放的な町並みづくりに努めるなど潤いある環境作りにも取り組んでいます。

住まいにも履歴書

図面やリフォームなど家の履歴書(カルテ)、維持管理書を作成し、子供から孫、次の所有者へとリレー式にバトンタッチします。

家 歴 書



- 地盤調査報告書
- 住宅性能評価書
- 住宅検査報告書
- 各種図面
- 確認申請関係書類
- 取扱説明書
- 工事工程表
- 経過報告書(工事記録写真)
- 業者一覧表
- 契約書
- 引き渡し書
- 施工引き渡し確書
- 鍵
- 備品リスト

□□□□邸

建築年月日:
平成20年10月30日

住所:
滋賀県高島市
〇〇区〇〇町〇

車に記録簿やメンテナンス帳があるように
家にも整備状況を記録する「履歴書」を

■ 家歴書に含まれる情報

◎ 調査評価書

- ◆ 地盤調査報告書 ◆ 住宅性能評価書(自社診断・200年住宅のみ)
- ◆ 住宅検査報告書

◎ 住宅設計図書

- ◆ 各種図面 ◆ 確認申請関係書類
- ◆ 取扱説明書

◎ 施工記録

- ◆ 工事工程表 ◆ 経過報告書(工事記録写真・C D) ◆ 業者一覧表

◎ 契約書類

- ◆ 契約書 ◆ 引き渡し書 ◆ 施工引き渡し確書 ◆ 鍵 ◆ 備品リスト

維持管理書

■ 維持管理書に含まれる情報

◎ 維持管理記録

- ◆ 定期点検記録表
- ◆ 維持管理ガイド

箇所	年	10	20	30	40	…200
構造躯体		20年毎に点検・メンテナンスし、必要な箇所は補修していく。				
外廻り	外壁	再塗装(10年毎)				
	屋根	 再塗装(10年毎)・葺き増し(30年毎)				
	開口部		部品交換(30年毎)			
内装	畳		表替え畳交換(20年毎)			
	壁・床等	クロス・床材交換など(30年毎)				
設備機器	給湯器	消耗品交換(10年毎)・本体交換(20年毎)				
	キッチン	部品交換(10年毎)		本体交換(30年毎)		
	火災報知器	電池交換(10年毎)				

年数が経っても新築に負けないほど
メンテナンスが行き届いた状態を